

2016年3月9日
日立オートモティブシステムズ株式会社

高度安全走行システム事業の強化に向け、「情報安全システム事業部」を新設

カーメーカーによる自動運転やコネクティッドカーの実用化を支える事業展開を加速

日立オートモティブシステムズ株式会社(取締役社長兼 COO: 関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)は、今後、市場拡大が見込まれている自律走行システムなどの高度安全走行システム事業を強化するため、「情報安全システム事業部」を4月1日付けで新設します。新事業部は、既存の事業部であるパワートレイン&電子事業部、エンジン&シャシー事業部、走行制御事業部、市販事業部に次ぐ5つ目の事業部であり、既存事業部の最先端の製品や日立グループの技術を基に高度安全走行システムを構築し、カーメーカーへの積極的な提案・販売を推進することで事業拡大を図っていきます。

今後、自動運転やコネクティッドカーの実用化に向け、次世代ビークルの中核技術が先進運転支援システム(ADAS)から自動走行、自律走行システムへと進展していく中で、情報を活用した高度安全走行システムの先端的な技術開発と事業化が中長期的な事業戦略において重要となっています。

日立オートモティブシステムズは、このたび新設する「情報安全システム事業部」により、強みである電子・電動化製品やコントローラーとソフトによる統合制御技術に加え、日立製作所やクラリオンなど日立グループが有する情報・通信システムなどの強固な技術との融合により、高度安全走行システム事業での競争優位性を構築し、他社に先んじた事業展開をめざします。

「情報安全システム事業部」の組織は、事業戦略策定やシステムエンジニアによるソリューション提案などを担う「グローバル事業企画部」のほか、「設計開発本部」、「システム品質保証部」などで構成され、人員体制は約200人でスタートし、今後、適宜拡充を図っていきます。

日立オートモティブシステムズは、このたび新設する「情報安全システム事業部」を中心とした新事業の展開によりさらなる成長を図るとともに、交通事故の削減、渋滞の解消・緩和、高齢者の移動支援といった社会的課題に取り組み、より安全・安心な自動車社会の実現に向け、新たな価値を提供していきます。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
